

目次

イントロダクション

- 02 統合報告書2026のポイント／情報開示体系
- 03 目次

Daigasグループのビジョン

- 05 Daigasグループ企業理念
- 06 CEOメッセージ
- 11 Daigasグループの価値創造の歴史
- 12 At a Glance
- 13 Daigasグループの事業ポートフォリオ



価値創造ストーリー

- 15 価値創造プロセス
- 16 資本の特徴と今後の取り組み
- 17 マテリアリティと指標・目標・実績



成長戦略と実践

- 21 バックキャストで描く「中期経営計画2026」
- 22 |特集|カーボンニュートラル実現に向けた取り組み
- 27 CFOメッセージ
- 31 セグメント別事業戦略
- 38 人的資本戦略
- 40 DX戦略



価値創造の基盤となるコーポレート・ガバナンス

- 42 株主・投資家とのコミュニケーション
- 43 社外取締役と機関投資家との対話
- 46 取締役の紹介
- 48 コーポレート・ガバナンス
- 54 サステナビリティ・マネジメント



コーポレートデータ

- 56 財務のデータ
- 57 非財務のデータ
- 58 会社概要
- 59 社外からの評価

編集方針

「統合報告書2026」では、Daigasグループがこれまでに培ってきた資産を活用し、どのように今後の価値創造と持続的成長を実現していくのかを、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにご理解いただくために、事業戦略や価値創造ストーリーを記載するとともに、非財務情報の充実にも努めています。

参考にしたガイドライン

- IFRS財団「国際統合報告フレームワーク」
- 経済産業省「価値創創ガイダンス」
- 環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
- 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)最終報告書」
- TNFD最終提言 v1.0
- 国際標準化機構「ISO26000」(社会的責任に関する手引)
- GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード
- 国連グローバル・コンパクトCOP方針

報告対象範囲

大阪ガス(株)およびグループ会社
※大阪ガス単体に関する報告については、主語を「大阪ガス」または「当社」としています

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日 ※一部対象期間外の情報も掲載しています

「見通し」に関する注意事項

本資料には、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動ならびに天候の異変などがあります。